



CHECK POINT CAPSULE

企業のあらゆるモバイル・ニーズに対応するシングル・セキュリティ・ソリューション

製品の特徴

- 個人のデータやアプリケーションから業務データを分離
- あらゆるデバイスから安全なリモート・アクセスを実現
- 社内のセキュリティ・ポリシーをモバイル・デバイスにも適用
- 不審なファイル、不正なWebサイトへのアクセス、ボットによる被害をブロック
- ポリシー、アクセス、文書の利用を容易に管理
- 既存のインフラストラクチャとシームレスに統合

製品の利点

- 利用場所を選ばずスマートフォン、タブレット端末、ノートPCを脅威から保護
- 企業のセキュリティ境界の外側にいるモバイル・ユーザを保護
- モバイル・デバイスで安全なビジネス環境を確立
- 社内外でビジネス文書のセキュリティを確保
- 管理外の環境で使用されるデータを保護
- 業務アプリケーションのシームレスなセキュリティを実現
- モバイル・デバイスからの業務データ漏洩を阻止

課題

世界中の人が国境を越え、ネットワークで常時接続されている現代社会は、セキュリティの確保も常に求められています。一般のユーザや企業活動では、スマートフォンやノートPC、タブレット端末などのモバイル・デバイスを通じて、1日24時間常に情報のやり取りが行われています。

しかし、このように接続性が高まることにより、リスクの増大も避けられません。たとえば、2013年には1,160万台以上のモバイル・デバイス¹がマルウェアに感染していたと推定されています。こうした急速な感染率の上昇やモバイル・デバイスの紛失リスクを考えれば、今日のモバイル環境でのデータ保護が至難の業と化している状況も当然と言えるでしょう。

このモバイル社会の課題を克服するため、既に多種多様なソリューションが提供されていますが、どれも完璧なセキュリティには程遠いのが現実です。モバイル・デバイス管理ソリューションはデバイス設定の扱いには優れていますが、管理外の環境で使用される業務データやビジネス文書の保護までは、十分な対応に至っていません。より特定の領域に特化したモバイル・セキュリティ・ソリューションについても、企業のセキュリティ・ポリシーやインフラストラクチャへの統合は今後の課題とされています。このように、モバイル・デバイスの脅威対策からデータや文書の保護までシンプルかつ統合型のアプローチで実現するソリューションは、今まで選択肢が存在していませんでした。

解決策

Check Point Capsule は、社員やデバイス、データのモバイル化が進む今日のビジネス環境で、企業が直面しているセキュリティ上の課題を包括的に解決するソリューションです。この統合型のソリューションでシームレスなセキュリティを確立すれば、データの脅威対策、モバイル・デバイスが使われるビジネス環境のセキュリティ強化、業務用の文書、デバイス、ネットワークの保護をすべて実現できます。

Check Point Capsule では、社内ネットワークに導入しているチェック・ポイントの最先端のセキュリティ対策を、モバイル・デバイスまで拡張できます。社内のネットワークと社員のモバイル・デバイスに共通のポリシーを適用し、社内外のセキュリティ脅威に対して同様の対処が可能になります。

社内のメール、文書、ディレクトリや情報資産に対し、Check Point Capsule で保護されたビジネス環境からアクセスが可能となります。個人のデータやアプリケーションは業務データから分離されるため、社員の個人情報やアプリケーションを保護しながらビジネス資産を安全に利用できます。

ビジネス文書はあらゆる場所で、Check Point Capsule によって確実に保護できます。文書を作成する段階で確立されたセキュリティは常に文書に有効となり、社内のセキュリティ・ガイドラインが場所を問わず常に適用されます。

¹ Source: Kindsight Security Labs Malware Report, February 2014

「社内のネットワーク、リソース、ビジネス文書にいつでも、どこからでも安全にアクセスしたい」という社員側のニーズが昨今高まっていますが、チェック・ポイントなら企業が直面するこうした課題を解決できます。

場所を選ばずセキュリティ脅威からデバイスを保護

従来型のネットワークが変化し、セキュリティ保護が限られた企業ネットワークの境界の外側で、モバイル・デバイスが業務利用されるようになりました。効率は向上しましたが、デバイスやデータ、ネットワークはサイバー攻撃に対して脆弱性を生み出しています。オフサイトで利用しているデバイスがマルウェアに感染すれば、そのデバイスに保存されているデータは漏洩のリスクが高まります。さらに、そのデバイスを再び社内のネットワークに接続すれば、次は社内ネットワークがセキュリティ脅威にさらされることになるのです。Check Point Capsuleの導入により、チェック・ポイントの各種 Software Bladeが提供する保護機能をクラウドベースのサービスとして利用でき、社内外のセキュリティ脅威からユーザやネットワーク、業務データを保護できます。すべてのデバイスに共通のセキュリティ・ポリシーを適用できるCheck Point Capsuleにより、場所を選ばない保護対策が実現します。

ビジネス環境の保護体制を確立

スマートフォンやタブレット端末はプライベートに限らず、ビジネスでの利用が盛んになりました。業務連絡のメールを個人用のデバイスでチェックする、または業務用のデバイスで家族や友人と連絡を取り合うなど、どの場合でも同じ電子メール・アプリケーションが使われているケースさえ希ではありません。しかし、このように接続性が高まり、プライベートと業務の境界線が曖昧になると、顧客データや社内データの紛失あるいは盗難によるセキュリティ・リスクが増大します。Check Point Capsuleにより、ユーザが社内のメールやファイル、ディレクトリ、アドレス帳、スケジュールにワンタッチでアクセスできる安全なビジネス環境を創出できます。しかも、個人のデータが影響を受けることはありません。このソリューションを活用すれば、社員の生産性の向上、個人用デバイスのセキュリティ強化、業務データの管理と保護が同時に実現します。

社内外でビジネス文書のセキュリティを確保

現代のビジネス環境では、同僚やパートナー企業、顧客との文書共有は欠かせません。しかし、そうした文書へのアクセス権限を管理できなければ、単なる情報の漏洩では済まないケースも十分に考えられます。Check Point Capsule を導入すれば、文書の作成段階でセキュリティが確立され、社外に文書を持ち出してもそのセキュリティが適用されます。しかも、権限のあるユーザはパスワードを覚える必要がなく、シームレスにアクセス可能です。このように、Check Point Capsule を導入した企業では、セキュリティに対する不安を払拭しながら場所を問わずビジネス文書を共有、利用できます。

総合
ソリューション

Check Point Capsule

包括的な
保護対策

場所を選ばずシームレスなセキュリティを実現



PROTECTION
from threats



SECURE
access to work



SAFE
documents

製品に関する
お問い合わせ

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル6F
Tel : 03 (5367) 2500 E-mail : info_jp@checkpoint.com Web : www.checkpoint.co.jp